

stage



①ICANOF出品作 (半田晴子)
②中平卓馬 (写真家)
③高梨豊 (写真家)
④森山大道 (写真家)
⑤笹岡啓子 (写真家)

「9月17・18日メガネウラ展」
=ICANOF サス・ペンタ」

〈文／豊崎謙之 (ICANOF キュレーター)〉

molecular theatre - ICANOF (イカノフ)

(1) ICANOF五周年企画展が、来たる9月17日、10月2日の16日間、八戸市美術館で開催される。入館無料。休館日なし。開館時間は11時〜19時(初日のみ13時開館、最終日のみ15時閉館)。テーマは「メガネウラ」。神経(ネウラ)のみが肥大化(メガ)した古生代石炭紀の巨大トンボ。写真の異称として、これほど「うってつけ」のテーマは他にあるまい。ゲストアーティストがまたスゴイ。中平卓馬・森山大道・高梨豊。日本を代表する三人の「怪物的」写真家がこの八戸で一堂に会する。今後二度とないサスペンスフルな、それこそ「メガネウラ的」な出来事と言っている。

(2) 「南」への志向がことのほか強い中平卓馬が今年4月の5日間、八戸に滞在して写真を撮りまくった。その中から中平自身が厳選した26点と、ほか未発表の新作を本展に出品する。大阪生まれの森山大道を「北」へと駆り立てたものは何だったのだろうか。森山にとつての写真的な原生林、それこそ「三沢の犬」である。今回その「イヌの凶眼(きょうがん)」にICANOF展で再会することができ。ちなみに凶の字を間近に注視してみてもほしい。メガネウラが、そこにどろろを巻いて冬眠しているはずである。北でも南でもない高梨豊の「東京」とは何か。今回展示される高梨の大型新作もまた東京の風景なのだが、そこに「北」と「南」の二重底が透けて見えてくるのは私だけであろうか。

(3) オープニングの特別プログラム(両日とも美術館2F)は見のがせない。17日(土)14時、佐藤英和DVD「CAN OF ICANOF」上映。14時半〜17時、中平卓馬・八角聡仁(京都造形芸術大教授「写真の南北の二重底。」)・森山大道・前田恭二(読売新聞美術記者「文字と写真とフィギュール」)・高梨豊・暮沢剛巳(美術評論家)「写真の平面性と入面性」。三者三様の「現在地」をめぐる作者自身がどう語るのか、興味は尽きない。さらに18時半〜八戸グランドホテルにて中平・森山・高梨氏を囲んでパーティも開催、どなたでも御参加できます(要予約。会費は豪華凶録つき7千円)。

(4) 翌18日(日)13時半〜足立智美(演奏家・映像作家)・パフォーミング・ダンス・ダンスユニット。14時半〜笹岡啓子(写真家)スライドショー。15時〜17時、八角・前田・暮沢・足立「メガネウラ展をめぐる」。客席には中平・森山・高梨氏も立ち会おうので、スリリングな展開になればマイクが回ることもなろう。足立も笹岡も国際的に活躍する若手アーティスト。二人とも一回きりのライヴなので、これまた見のがせない。特別プログラムは当日受付可。テキスト実費として各日1500円。

(5) ICANOF企画展が五周年を迎えた。八戸市美術館共催はもとより、日本芸術文化振興会やUFC文化振興財団の助成、富士フィルムイメージング株式会社や八戸グランドホテルほか協賛、ICANOF八戸芸術大学セミナーに対する青い森ファンドの助成。そして何よりもICANOF展に足を運んでくれた毎回二千名をこえる市民県民、さらには県外からのリピーターがいつも厳しい眼差しを注いでくれたお蔭だと考えている。

9月のFriday Amusement Negative Shop

9月2日 (第604回) 三浦哲郎作品集リーディングvol.29

9月9日 (第605回) 三浦哲郎作品集リーディングvol.30

9月16日 (第606回) 三浦哲郎作品集リーディングvol.31

9月23日 (第607回) 漫談ライブのコンニャク畑vol.3

9月30日 (第608回) MovieColosseum scene.1

※特別番組以外全て午後7時30分〜、料金/一般500円 高校生以下100円 ※料金改定しました! 高校生以下は、特別番組以外100円でご覧になります。チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

tsutomu_tanaka ☎070-5095-2028
スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>
Eメールアドレス owner@spaceben.com

演劇空間 スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎ 0178-43-9876
FAX 03-5908-9120



Dance WAG 2005 LIVE 決選 - 「CARAVAN」
日時/9月23日(金)・24日(土)
open 18:30 start 19:00
場所/八戸市公会堂文化ホール
料金/前売1500円
当日2000円

青森県民文化祭とは、県民の芸術文化活動の発表の場及び鑑賞の機会を提供し、芸術文化の創造と一層の発展を目指す、県民参加の総合的・自主的な芸術文化の祭典です。開催期間中を「青森県民文化祭月間」として、今年も八戸市を中心に多彩な催しが開催されますが、そのオープニングを飾る総合フェスティバルが、9月23日(金・祝日)に八戸市公会堂で開催されます。ぜひ足を運んでみて下さい。

『総合フェスティバル』
日時/9月23日(金) 13:00~16:00
場所/八戸市公会堂
第1部【式典】
第2部【南部の調べ〜海と大地の響き〜】
脚本: 笹谷伸夫 作曲・編曲: 松橋弘人・佐々木浩平 演奏: H・J・Q
舞台美術: 安達良春 総合プロデュース: 田中勉